## 行事予定

2005/01/01~2005/03/31

# ●平成16年度康楽賞贈与式

1月21日(金) 長井記念ホール

## 問い合わせ先

(教員の部)総務部秘書課 088-656-7009 E-mail: hisoumuk@jim.tokushima-u.ac.jp (学生の部)学務部学生課 088-656-7080 E-mail: gakusoumuc@jim.tokushima-u.ac.jp

## ●第33回徳島大学駅伝大会 (第5回学長杯争奪駅伝大会)

1月22日(土)

徳島中央公園

問い合わせ先: 学務部学生課 088-656-7287 E-mail: gksenmn4@jim.tokushima-u.ac.jp

# ●徳島大学地域貢献シンポジウム

2月13日(日)

工学部創成学習スタジオ

問い合わせ先: 総務部企画・評価課 088-656-9752 E-mail: khkoukenc@jim.tokushima-u.ac.jp

# ●平成16年度徳島大学卒業式·修了式

3月25日(金)

アスティとくしま

問い合わせ先: 総務部秘書課 088-656-7009 E-mail: hisoumuk@jim.tokushima-u.ac.jp

## ●徳島大学医療技術短期大学部閉学記念式典 3月30日(水)(予定)

長井記念ホール(予定)

問い合わせ先:

医学·歯学·薬学部等総務課第一総務係(保健学科) 088-633-7009 E-mail: isysoumu4k@jim.tokushima-u.ac.jp

徳大ニュース 2004/9/1~2004/11/30

> る徳島大学が、地域との交流を深め 催で、社会貢献を目標のひとつとす 組織する徳島地域連携協議会が主

る場として初めて企画しました。

会場では、約6人が参加し、最初に

TOKUCO The University of Tokush

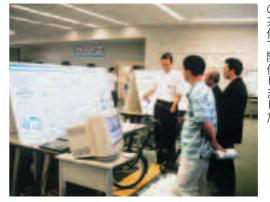
# フェスティバル2004開催 ーエンジニアリング

ついて、また山中教授(工学部)から 脇町長から同町の歴史、観光政策に 青野学長の挨拶があり、続いて佐藤

魅力あるまちづくりのデザイン」に

いて報告がありました。

日(金)に地域共同研究センタ グフェスティバル2004」を9月17 本年で4回目となる「エンジニアリン 徳島大学工学部・工学研究科では、



ける科学技術の振興の一助となるこ 広く地域の人々に公開し、地域にお 院工学研究科における研究成果を 当フェスティバルは、工学部・大学

> 大学に対する協力依頼もありました。 域の活性化について意見が交わされ パネルディスカッションが行われ、地

最後には、会場からの質問等を受

研究内容の説明責任、企業の方から 展示並びに担当教員による説明を 成果」等30件の研究成果のポスター 容は、「工学部研究プロジェクト成果」 野に入れて実施しています。出展内 の共同研究のシーズの提案なども視 本研究科の研究活動の情報公開や 「工学部・大学院工学研究科の研究 学長との懇談会開催

でき、共同研究を行うきっかけをつか な説明で、最新の研究を知ることが

参加した企業の方からは、「丁寧

行い、1日間で約350人の参加が

めた。」等の意見がありました。

護者代表と学長との懇談会」を開催

け付け、活発な意見交換が行われま 保護者代表と

とを目的とするとともに、本学部

# キャンパス共通講義棟大会議室で「保 徳島大学では、10月1日、常三島

3日目は晴天に恵まれ、予定どおり め、一部の企画が中止となりましたが 初日と2日目があいにく雨天のた

八、「環境シンポジウム知事座談 川みくにライブ&ト 出席しました。 長、中村事務局長及び各学部長等が もので、学部生、大学院生の保護者 この懇談会は今回で6回目となる 人と青野学長、川上、黒田両副学

メインテーマにタウンミーティングを

徳島大学と県や市町村会などで

保、就職支援体制、インターンシップ 細な回答・説明がなされました。 望に対し、学長、各学部長等から詳 の現状について説明があった後、事前 の状況等について活発な意見、要望 本計画、就職率、国家試験合格率等 法人化後の組織、予算、基本構想・基 に寄せられた保護者からの意見・要 保護者からは、法人化後の予算確

が出され、有意義な懇談会となり

# 第52回徳島大学祭



山中教授、脇町推進員会会長やボラ 授・総合科学部)の司会により町長、

また、平井地域連携推進室長(教

ンティアガイド連絡会副会長による

で第52回徳島大学祭が開催されま 月1日(月)までの3日間の日程 徳島大学では、10月30日(土)から

可能性を信じることで、1歩1歩前進 み、苦しむこともありますが、自分た 時には理想と現実とのギャップに悩 が込められていました。 し、乗り越えられるという強い思い ちが持つ無限大= 今年の大学祭テーマ「前へ前へ 'n ~」には、 у D

に実施できました。 主な企画の入場者数は、常三島祭

質問がありました。 明があり、報道関係者からも活発な 協定締結に至った経緯等について説 発表では、青野学長、小林会長から

# 懇談会 学長と大学院生との

議室で「学長と大学院生との懇談会」 平成16年11月22日、事務局第一会 青野学長から徳島大学における

# 究連携協定締結 大鵬薬品工業

究連携協定を締結しました。 界的な癌研究開発拠点の構築並び に社会貢献を目的とした包括的研 を中核として、学術研究の振興、

の事業等を進めていく予定です。 今後は、協議会方式によってこれら の先端教育の実施等を項目に掲げ ⑤研究設備の相互利用、⑥癌研究等 の交流、④先端技術の高度化推進、 交換会及び研究会の開催、③研究者 題の研究開発、②最先端技術の情報

ぞれ協定書に署名し、握手をかわし 大鵬薬品工業株式会社会長がそれ 協定調印式では、青野学長、小林



町において「いきいきまちづくり」を

徳島大学は、9月18日、美馬郡脇

ウンミーティング」開催

モトが来る」に1000人、「Mr& シャルライブ」に300人、蔵本祭の 悪天候にもかかわらず入場者も多く 委員・学生及び教職員の頑張りで、 企画に100人の参加があり、実行 Minss蔵本」に300人、「医療展」 塚FCと遊ぼう」に100人、「ヨシ 成功裡に終わりました。 に550人、大学開放実践センター ハリネット」に900人、「大

した。

17

# 式会社との包括的

工業株式会社との間で、癌関連分野徳島大学は、11月17日、大鵬薬品 本協定では、①双方が提案した課 世

また、調印式後行われた合同記





り有意義な懇談会となりま. 区の施設・設備の改善、就職サポ ためのガイダンスの必要性、蔵本地 等について活発な意見、要望があ 特に講義を能率的・効率的に行う



各研究科長、教育部長等が出席しま 川上、渋谷両副学長、中村事務局長、 育部からの院生代表16人と青野学長 で4回目となるもので、各研究科・教 を開催しました。この懇談会は今回 18